

創立50周年記念 ブリティッシュスタイルの金管バンド

東京ブラスソサエティ

第50回記念クリスマスコンサート

あなたに贈る
金管バンドからの
プレゼント



Takeo Yamamoto

I 部

- クリスマス フェスティバル
A Christmas Festival
Leroy Anderson / arr. J. Wood
- G線上のアリア
Air from the Suite in D
J.S. Bach / arr. D. Wright
- いつくしみイエス“レクイエム”より
PIE JESU from Requiem
Andrew Lloyd Webber
- 英国の海の歌による幻想曲
Fantasy on British Sea Songs
Gordon Langford
- シャイン アズ ザ ライト
Shine as the Light
Peter Graham

II 部

- 祝典のための音楽
Musique for a Festival
Philip Sparke
- カントリー シーン
Country Scene
Goff Richards
- 私の愛は赤いバラのごとく
My Love is Like A Red, Red Rose
Trad / arr. G. Langford
- ティコ・ティコ
Tico Tico
Z. Abreu / arr. Higai Michio
- ピータールー序曲
PETERLOO Overture
Malcom Arnold / arr. A Duncan



演奏：東京ブラスソサエティ

2022/12/9 [金] 18:30開演 (18:00開場)

ティアラこうとう 大ホール

江東公会堂 TEL 03(3635)5500 都営地下鉄新宿線 東京メトロ半蔵門線「住吉駅」A4出口徒歩6分

入場料 2,000円(一般)
1,000円(小・中学生)

主催/東京ブラスソサエティ 協力/公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団
後援/日本ブラスバンド指導者協会 協賛/株式会社 ヤマハミュージックジャパン
チケット取扱い/ティアラこうとう 03-5624-3333 問い合わせ/山本:TEL&FAX 03-3931-0676

TOKYO BRASS SOCIETY

東京ブラソサエティ(T.B.S)は1972年に我が国初の本格的なブリティッシュ・スタイルの金管バンドとして創立されました。本年(2022年)創立50周年を迎える事が出来ました。

創立当時は、まだブリティッシュ・スタイルの金管バンドの楽器編成も、演奏法も手さぐりの状態でしたが、レコード等で聞いた英国のバンドの響きのすばらしさに魅せられて、私達も何とかしてあのようなサウンドを出したいという事で、さまざまな努力をしました。

最初は英国のサウンドをまねるところから始めました。英国のバンドは160年以上の歴史があり、このスタイルのバンドが社会に根づいています。英国では子供の頃から、このサウンドを耳にして育っています。私達のように初めてこのスタイルを演奏する者にとっては大変です。英国から指導者を迎えて指導してもらったり、直接英国をおとずれて本場の英国のサウンドを見聴きしているうちに、少しずつですが、前にもましてこのスタイルのバンドのすばらしさが、判ってきました。

英国の金管バンドは、金管楽器の合奏でも、トランペットやフレンチホルン等を使用せずに、コルネットやフリューゲルホルン、アルトホルン、バリトンホルン、ユーフォニアム、E^bバス、B^bバスという、いわゆるサクソルン属の楽器を使用して編成されています。このサクソルン属の楽器というのは、楽器制作者で研究家として有名なベルギーのアドルフ・サクスの考案した一連の楽器群です。

サクスは今のサクソフォーンを発明、開発した人ですが、金管楽器群にも、ソプラノからバスの声部全て奏でる一連の金管楽器群を開発しました。E^b管と、B^b管の二種類で、E^bソプラノから、B^bバスまでを一つの楽器のファミリーのように7種類の楽器で作りました。トランペット等の円筒管部分を多く持った楽器は、明るく輝かしい音色になりますが、このサクソルン属の楽器はトランペット等にくらべると円錐管部分を多くもっていますので音が柔らかく、他の楽器とのブレンドがよく出来ます。

英国では、1850年頃からこのサクソルン属の楽器で編成された本場のブラソバンドが盛んになり、1853年から毎年全英のナショナルチャンピオンシップというコンクールを行い現在もつづいています。

この間、英国のバンドのレベルは大変向上し、有名な作曲家や編曲者が数多くのオリジナル作品をはじめ、オーケストラの名曲を編曲しています。

日本においては、東京オリンピック(1964年)の頃、小学校にバンド活動が出来るかを研究し、最初はトランペット鼓隊として、金管楽器の導入を行いました。その後、各地の小学校に於て、実験教室を行い、指導法の研究や、教則本の作成を行い、ブラソアンサンブルの型を取り入れながら、金管バンドの普及につとめました。この50年間に小学校において金管バンドが盛んになり、今やその頃金管バンドを経験した子供達が、音楽大学に進み、卒業してから指導者となって、各地で金管バンドが大変多くなってきました。

1998年には、日本吹奏楽学会において、私達、東京ブラソサエティが、日本吹奏楽アカデミー賞(啓蒙部門)に選ばれました。このアカデミー賞は、年間を通して吹奏楽及び管打楽器の分野に関する特にすぐれた活動に対して表彰されるものです。

ブラソバンド(金管バンド)の研究と普及を目的として1972年に創立されて以来、日本において数々の初演を行うと共に、金管バンドという編成を示し、吹奏楽とは異なった編成ですが、音楽のすばらしさ、楽しさを求めてきました。金管楽器と打楽器のみの合奏、本当のブラソバンドで、「どのような音楽表現が可能か」というのも研究課題です。

2020年から2021年にかけては、世界中で新型コロナが流行しました。日本においても、コロナのために演奏会が出来なくなっていました。感染防止のため人々が集まるのをさげ、リモートや映像で演奏を行いました。やはり人と人の繋がりは、生身で顔を合わせて、お互いの気持ちを伝えるのが一番です。

本年2022年、東京ブラソサエティは創立50周年を迎えました。創立当時(1972年)から開催されてきたクリスマスコンサートは、本年50回を迎えます。今回の創立50周年記念、第50回クリスマスコンサートは、皆様に感謝をこめて“あなたに贈る金管バンドからのプレゼント”と題し、前回の定期演奏会“あなたが選ぶ金管バンドのプログラム”で、皆様の希望の多かった作品と、今までクリスマスコンサートで評判の良かった曲を選び、プログラミングしました。ぜひ生の音楽をご家族でお楽しみ下さい。

東京ブラソサエティ 代表

洗足学園音楽大学名誉教授

日本ブラソバンド指導者協会 理事長 山本武雄

指揮者プロフィール



山本 武雄 Takeo Yamamoto

東京藝術大学音楽学部器楽科(トランペット専攻)卒業後、同大学管弦楽研究部のトランペット奏者として務める。1987年～1988年、文部省在外研究員として、英国及びヨーロッパ各国にて“金管合奏法の指導”研究のため渡英。英国ナショナルブラソバンド協会から功労賞を授与され、英国ブラソバンド協会会員、指導者資格を与えられる。1972年、我が国初のブリティッシュスタイルの金管バンド「東京ブラソサエティ」を創立し、ブラソバンドの研究と普及、発展に努めている。1998年、日本吹奏楽アカデミー賞を受賞。2019年、英国(ブリティッシュ・バンズマン)より、日本でブラソバンドの文化を発展させた業績により、Herbert Whiteley賞を受賞。日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会、“21世紀の吹奏楽”実行委員会等において吹奏楽の指導、客演指揮、審査員を務める。日本ブラソバンド指導者協会理事長。2006年より洗足学園音楽大学教授・ブリティッシュブラソアドバイザー、2012年より名誉教授。